

今後の地域の会のあり方について（アンケート）

委員 23 名・アンケート回収 22 名

1 定例会のあり方について

1) 開催回数

- a) ほぼ現行通り。 11 名
b) 少し減らしたほうが良い。 7 名
c) その他
・年 4 回程度でよい。(2 名)
・2 ヶ月に 1 回程度と問題があった都度。
・水曜日は除く。
・問題がなければ減らせるが問題発生時は即対応すべき。
・地域の会会則からいって毎月 1 回招集することになっている。
無回答 1 名

2) 開催日時

- a) ほぼ現行通り。 19 名
b) 休日（土・日）の昼間の開催も考えたほうが良い。 5 名
c) その他
・終了は 9 時半を限度とすべき。
・場所も持ち回りがよい。

2 委員の定数・選任方法等について

1) 定数

- a) 現行通りの人数で良い。(定数 25 名) 10 名
b) 若干、減らしたほうが良い。 6 名
c) 半数くらいで良い。 4 名
d) その他
・3分の2の15~16名くらいでよいのでは。
・20名くらいでも。
・公募枠も必要である。
・様々な人の考え方がある方がよい。多くの議論より良いものが生まれる。
・会の性質と人口からみて妥当だと思う。
・委員としての再登録したらどうでしょうか？意見発言が多ければ減らしてもよいと思うが、現在の人数で発言が多いとはいえない。発言者が偏っている。

2) 選任方法（複数回答可）

- a) 人選は行政で行ったほうが良い。 11 名
b) 一定数（2~4名程度）公募したほうが良い。 7 名
c) 現委員が大幅に変わらないほうが良い。 7 名
d) 総入れ替えをしたほうが良い。 5 名
e) その他
・現委員が選任された方式でよい。(2 名)
・ニュートラルな人が多い方がいいと思う。
・団体からの参加としているので、団体としての限定的考えです。
・色々意見はある様だがバランスがとれてると思う。

3 定例会の内容について

1) 委員相互の意見交換

- a) 相互の意見交換会を設けたほうが良い。 11名
- b) 相互の理解を深める為、非公開の意見交換会を設けたほうが良い。 5名
- c) その他
 - ・現状でよい。(2名)
 - ・相互の理解は深まらないと思う。
 - ・非公開の意見交換会は無理と思う。
 - ・もっと本質的な話をしたい。もっと深い議論をして東電や行政にもの申せる会にしたいが「判らない」という人に判ろうとする姿勢がみられないので無理か？
 - ・公表されて説明を受けたことについて、委員間で意見交換する機会を設ける。
 - ・定例会の内容については、適宜運営員会で検討いただきたい。
 - ・東京電力に対して立ち上がった会なので、委員相互の意見交換は余り必要ないと思う。

2) 今後のテーマについて

- ・ 防災訓練のテーマを取り上げて欲しい。
- ・ 防災については常に考えた方がよいと思う。出来れば昨年計画が流れたので、地震 etc も考え合わせた訓練を行い、会としても参加出来ると良い。
- ・ 今までに起きた事象について解決したわけではないので、継続してテーマの中に入れてはどうか。
- ・ 発電所施設の理解（共通認識を持つために）
- ・ 安全管理検査ルール
- ・ 国、県、市、村、事業者の役割（権限と責任）
- ・ トラブル等のプレス発表の方法と内容について。
- ・ 核燃料サイクルについて講師を招いて全員で学習する。
- ・ 使用済み核燃料の保管と見通し。
- ・ 地震に対する新対策について。
- ・ キチンと運転、点検等が行われるかを確認すること。
- ・ 発電所現場視察を多く取り入れて頂きたい。
- ・ 原子力の大枠があいまいになっていると思う。原子力の全体をも議論した方が良いのではないか。又、話題となった問題、応力腐蝕割れのその後とか減肉のその後等検証することも必要であると考える。
- ・ 再処理、使用済核燃料
- ・ 防災
- ・ 老朽化
- ・ 自治体財政と原発
- ・ 原発ある限りすべてに透明性を求められるがその意義は変わらないし「地域の会」の存在は大いにあり、継続していただきたい。即刻対応するかたちをもって。
- ・ 原発の賛成や反対の論議は今更それほど必要とは思わない。共存していく上で必要な理解と納得を深めていけるように、勉強や活動を続けたら良いと思う。
- ・ むずかしい説明も必要ですがもっとわかりやすい口調が望ましいです。(何事にも、説明会にも)
- ・ 新しく中立委員のみで審議を望みたい。